

2015年11月11日

## スズキ「アルト／アルト ラパン」が 2016年次 RJC カー オブ ザ イヤーを受賞



アルト ターボRS



アルト



アルト ラパン

スズキ株式会社の軽乗用車「アルト」、「アルト ラパン」が、NPO法人 日本自動車研究者ジャーナリスト会議(RJC)が主催する「2016年次 RJC カー オブ ザ イヤー」を受賞した。

1979年の発売開始から36年の歴史を持つ「アルト」にとって、このたび初の「RJCカー オブ ザ イヤー」の受賞となった。なお、スズキ車が「RJCカー オブ ザ イヤー」を受賞するのは、「ワゴンR」(1993年)「ワゴンR/ワゴンRステイグレイ」(2008年)、「スイフト」(2005年、2010年)、「ハスラー(2014年)」に続き、2年連続、6度目の受賞となる。

RJCの受賞理由は、「アルト・シリーズは新設計のプラットフォームによる軽量化が最大の特徴である。その結果、操縦性や燃費が向上した。そうしたプラットフォームと足のバランスはすばらしく、ノーマルでもコーナリングの安定性は想像以上に高い。また、アルトだけでなく、スポーティモデルのRSやファッション性の高いラパンなど、モデルバリエーションも多い。基本性能の高さと選択肢の多さを評価した。」としている。

8代目となる新型「アルト」は、乗りやすさ、扱いやすさ、お求めやすさなど、ベーシックな軽自動車としての基本性能を備え、より一層、軽自動車の価値を高めるクルマとして2014年12月22日に発売した。2015年3月11日に「アルト ターボRS」、6月3日に「アルト ラパン」を追加して多様化するお客様に対応し、新型「アルト・シリーズ」の累計販売台数は約9万4千台となっている。

「アルト」は、1979年の初代「アルト」発売からの国内累計販売台数(アルト ラパンを含む)が約557万台にのぼる、スズキの最多販売車種である。

## ●「2016年次 R J C カー オブ ザ イヤー」の概要

25回目を迎えた本年度のR J Cカー オブ ザ イヤーの選考は、2014年11月1日から2015年10月31日までに発表された国産車を対象に、R J C会員の投票によって実施された。11月2日に「6ベスト」が選出され、その中から11月10日の投票によって2016年次R J Cカー オブ ザ イヤーが決定した。

### 【R J C カー オブ ザ イヤー】 スズキの受賞歴

回	年次	受賞内容	
第3回	1993～	R J Cニューカー オブ ザ イヤー	ワゴンR
	1994年次	R J Cマン オブ ザ イヤー	取締役社長 鈴木修
第15回	2006年次	R J Cカー オブ ザ イヤー	スイフト
第16回	2007年次	R J Cパーソン オブ ザ イヤー	取締役社長 津田 紘
第18回	2009年次	R J Cカー オブ ザ イヤー	ワゴンR／ワゴンRスティングレー
第20回	2011年次	R J Cカー オブ ザ イヤー	スイフト
第22回	2013年次	R J Cテクノロジー オブ ザ イヤー	スズキグリーン テクノロジー
第24回	2015年次	R J Cカー オブ ザ イヤー	ハスラー